



早いもので、今年も残すところ1ヶ月をきりました。各学校では、成績評価はもちろん、学校評価等もすすめられ、たいへん忙しい学期末・年末を迎えていることと思います。

さて、今回のふらーぬいでは過日行われました学校事務に関する共通・重点要望について、教育委員会との協議内容をお知らせしたいと思います。

富良野市の財政事情もあり、共通認識にたつことがイコール改善につながらないこともあります。共通認識にたたなければ「改善」にはつながりません。今後とも、学校・教育委員会間の連携を深め、課題解決に向け取り組んでいきたいと思っております。

学校配当予算等の経常経費及び事務機器の整備について

① 市内のいくつかの学校で、カーテンやモップなどの洗濯のため手数料の増額を要望しているため、学校の実態に合わせての増額をお願いしたい。

答) 昨年度決算を見直すと、執行残がある学校がある。まずは学校間で調整してほしい。

② 教育振興費備品の消耗品費について、価格の改定等により厳密に所要額を見積もることが難しいことから、学校事情によっては備品購入費へ流用を必要とする場合があるためご配慮いただきたい。また、学校管理費にも備品の消耗品費の新設をお願いしたい。

答) 備品購入費を減らすことになる。委員会で管理備品費を確保しているが学校に配分してしまうと大きな物や突発的なものに対応できなくなる可能性がある。

③ コピー機の使用量を増やせるよう増額を希望。モノクロA3判レーザープリンタの整備による業務効率化の検討をお願いしたい。

答) 布礼別小の印刷機をなくす計画があり、その分をコピー機にまわす予定。

学校配当予算等の経常経費及び事務機器の整備について つづき

④ 学校に整備する事務機器について、電動裁断機・丁合機・大画面パソコン・大判プリンター等を年次計画で、各学校の実態にあった整備をお願いしたい。

答) 便利にこしたことはないが、裁断機が電動でなければならない理由は何か。大判プリンターは消耗品が高価なので予算の確保や、置き場所の問題も合わせて考えなくてはならない。

中学校教科書改訂にかかわる整備について

① 平成28年度の改訂についても、これまで同様の整備を基本として、各学校の事情に応じた整備をお願いしたい。デジタル教科書と専用のパソコンについても同様にお願いしたい。

答) デジタル教科書について、各学校で必要な教科が違つと要望が通るか難しいところがあるので、早めに具体的な調査が必要である。

学校内外の施設維持管理について

① 児童生徒用を優先しながらも職員用についても、トイレの洋式化を早急をお願いしたい。

答) トイレの洋式化についてはブースを広げたり、配線をかえたりと意外とお金がかかる。委員会としては30年以上経過している屋根や外壁の塗装等、今手を付けなければこの先大変になると思われるものを優先したい。対応しきれない学校もあることは承知しているが高齢の方には児童用トイレを利用してほしい。

② 校舎各教室の網戸設置をお願いしたい。

答) 必要とおさえているが、一度に全部つけると高額になる。特殊な窓枠の学校もある。現状把握のため調査票を作成している。

③ 黒板の張り替えについて、何校かから要望があがっているが一校で注文すると輸送費の比重が高くなり効率が悪い更新となる。順次の更新をお願いしたい。

答) 行えるところから見積もりをとっている。

④ 体育館床のワックスがけについて、各学校からの要望や実際の状態を考慮し継続的な実施を要望したい。

⑤ 窓の整備（二重ガラスの曇り解消・木枠のサッシ化・ゆがみ解消）をお願いしたい。

答) 西中は全部やると数千万円になる。大規模改造事業（補助）を使うためには7000万円以上使うことや、建物の外側と内側の両方行う等一定の条件がある。